

東京藝術大学における総合的な人事方針

東京藝術大学は、その前身である東京美術学校、東京音楽学校の創立以来130余年間、我が国の芸術教育研究の中核として、日本文化の伝統とその遺産を守りつつ、西欧の芸術思想および技術を摂取、融合を図り、幾多の優れた芸術家、中等教育から高等教育にわたる芸術分野の教育者・研究者を輩出してきた。

こうした歴史的経緯を踏まえ、我が国唯一の国立総合芸術大学として、創立以来の自由と創造の精神を尊重し、我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たすことが、東京藝術大学の使命であると考えている。

また、この使命の遂行のため、以下のことを基本的な目標としている。

- ・世界最高水準の芸術教育を行い、高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者・研究者を養成する。
- ・国内外の芸術教育研究機関や他分野との交流等を行いながら、伝統文化の継承と新しい芸術表現の創造を推進する。
- ・心豊かな活力ある形成にとって芸術のもつ重要性への理解を促す活動や、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献する。

この使命と目標を達成するため、下記のような総合的な人事方針に基づき、長期的な視点に立って本学に必要な人材の育成・確保を図る。

1. 共通の方針

- 1) 本学の目標や使命を果たすため、芸術研究院等を活用し、適切な年齢構成を実現する。
- 2) SDGs等の取組を促進するため、ダイバーシティを考慮した環境作りを進める。

2. 教員人事の方針

- 1) 伝統文化の継承と新しい芸術表現の創造を推進するため、それぞれの専門性を超えた教育研究の活性化を図ることを目的とした芸術研究院に教員を所属させ、教員人事を一元的、計画的かつ柔軟に行う。
- 2) 本学における教育研究の活性化を図るとともに、社会に対して本学の教育研究水準の質的保証を図る観点から、任期制により教員を採用し、任期更新時に教員の評価を実施する。
- 3) 世界一線級アーティストを含む外国人教員をはじめ、海外大学での教育研究活動歴を有する教員や海外での学位取得教員等を拡充する。
- 4) 国内外の傑出した人材獲得を推進するため、年俸制やクロスアポイントメント制度を活用・促進する。また、優れた若手教員を確保するため、テニユアトラック制度の導入を促進する。

3. 事務職員人事の方針

1) 採用方針

能力ある人材を確保するため、国立大学法人等職員統一採用試験のほか、内部登用試験等を実施する。

2) 総合的能力の育成

大学運営に必要な広い視野、総合的判断力や処理能力等を養うため、複数の部署でのジョブローテーションや他機関との人事交流によって経験を積ませる。

3) 専門的能力の育成

教育研究体制を支援する専門的能力を養うため、計画的な研修をはじめ、幅広いSDや語学学習プログラムを実施する。

4) 管理職への登用

総合的調整力や専門的能力を考慮し、相応しいと認められる者を管理職へ登用する。